

実践型行事通じ絆づくり

「愛情教育」を建学の精神に掲げ、小中学校、高校12年間の一貫教育を実践する学校法人駿台甲府学園（甲府市塩部2丁目、山崎善久理事長）。児童・生徒自らが五感を使い、多くのことを体験・吸収できるように、国内外を舞台にしたさまざまな実践型プログラムを企画している。普段から実践しているからこそできる「普段力」の向上とともに、児童・生徒たちのチャレンジング・スピリットを育み、さらなる飛躍を目指している。

修学旅行の事前学習となる学年集会に臨んだ駿小6年生



駿台甲府小（坂本宏行校長）の6年生は、校外学習の集大成と位置付けた9月の修学旅行（北海道）に向け、6月中旬、事前学習となる学年集会に臨んだ。駿小の指導の中心は「授業が真ん中」。しかし、生きる力は教室だけでは学べないこともあり、さまざまな体験を通じ、五感を使って成長してもらおうと小学4年から宿泊学習を実施してきた。

学年スローガンは4年が「みんなつ」、5年が「とことん」、6年が「プライド」。4～6年の校外学習はつながっている。学年主任の田中愛子教諭は、8ヶ岳少年自然の家泊まり、初めて校外で仲間と集団生活を送った4年次は、みんなでつくりあげた「みんなつ」。5年次は班別行動をしたり、子ども向け職業体験型テーマパーク「キッザニア」で職業体験したりと、やりたいことを「とことん」追求した。そして迎えた6年生。「プライド」を持った活動を求められ、修学旅行の前段階として5月に臨んだ鎌倉一日班別行動では、仲間と知恵を出し合い、協力して充実した時間を過ごしてきた。

高校から小学校へ

事前学習が開かれたこの日、田中主任の呼び掛けに、児童たちは目を輝かせた。スクリーンに映し出されたのは、世界自然遺産の知床をはじめとした釧路湿原や阿寒湖など北海道・道東の写真。「釧路湿原にしかない魚がいるけど、何か分かる？」「サーモン？」「シャケ？」。田中主任の問い掛けに、元気よく答える児童たち。「イトウ。日本最大の淡水魚といわれているんだよ！」「へえ～!!」。青い空、青い湖と海、豊かに広がる緑の森に、児童たちは見入った。北海道はこれまで、高校の研修旅行の行き先の一つとなってきたが、グローバル教育の一環で、高校

仲間と協力し成長

駿小校外学習 実る班別行動



5月の鎌倉1日班別行動で、江ノ電に乗るためにチケットを買う駿小6年生

の研修旅行先から外れたことから、駿小1期生以来9年ぶりの北海道修学旅行で、道東コースは初の行き先となる。「スライドに映し出された釧路湿原の写真を見たとき、自分の目で早く本物を見たいと思いました」と小佐野愛美さん。北橋琉さんも「すごい大自然で、日常ではできない体験ができそうで今から楽しみです」と心躍らせる。

普段力磨き成功へ

一方、高野美咲さんは「修学旅行を成功させるために必要なことは普段力。授業をしっかり受けたり、宿題をしたり、仲間と協力し合ったりと普段の生活が大切であることを感じ、普段から一生懸命に頑張りたいと思いました」と話す。平田啓人さんは「自分の良いところ、悪いところ、今の自分に必要なところなど、自分を知ることが修学旅行を成功させる秘訣だと感じました。悪いところを直し、臨みたいと考えています」と表情を引き締める。柳谷純輝さんは「仲間たちとの協力、思いやり、学習の仕方など、4年の時からの校外学習がこの修学旅行につながっていることを実感しました。絶対に成功させたいと思います」と仲間の声を代弁した。

世界自然遺産や民族の違い、北方領土、火山帯、雄大な自然など見どころは多い。「自分の肌で感じ、学ぶことの多い修学旅行になりそうです」と田中主任。児童に向けて繰り返しているのは「準備をおこたなな！」「自分でよく考えよう！」「自分と同じくらい仲間を大事にしよう！」ということ。「できない言い訳を探さず、できる準備をする。指示待ちではなく、先を見通して自分で考え、行動し、納得いく集大成にしてほしいと考えています」と呼び掛けていた。

異国文化に触れ刺激



駿高の授業に参加したマレーシアの生徒に、内容を解説する駿高生（写真上）とマレーシアの生徒に茶道の作法を教える茶道部の駿高生（写真下）

駿高、マレーシア生徒と交流

「母国・自己を知る」
一方、教員同士の勉強会も開き、駿小・駿中・駿高のグローバル教育推進室担当者と「グローバル教育」の考え方や進め方について意見を交換。アイデンティティの重要性が挙げられた。「私たちも同感で、自らのルーツとなる日本の歴史、文化を知ることが大事。世界を知る上でも、コミュニケーションを取る上でも、母国のことを理解することは不可欠です」と話す。



（2）年は、航空業界での就職を目指す上でもグローバル教育は不可欠と考える。「マレーシアへの研修旅行も、今回の受け入れも、駿高がこれまで培ってきた貴重な体験でした。受け入れた生徒は英語、マレーシア語、中国語が話せるほか、アニメを通じて日本語も話せる向上心旺盛なムスリムの男子。1日5回、お祈りをしていました。食事の制限もありませんでした。当初は、対応できるか不安に思いましたが、その生徒と交流するなかで話さずにはいられなくなり、入れることの大切さを痛感し、自分の偏った考えが変わりました」と自

教壇に立つ教師の説明に沿って、来校した外国人生徒に英語で古典の授業などを説明する駿高生たち。6月上旬、駿台甲府高（八田政久校長）が来校。交流を深めるとともに、グローバル教育のあり方などを考える期間となった。駿高は、昨年度からグローバル教育を推進している。海外の学校と姉妹校を育む一環として、海外の学校と姉妹校を積極的に推進し、生徒たちの海外研修に力を入れている。今回訪れたマレーシアの学校とは昨年6月に姉妹校として締結。駿高の研修旅行のコースとして新たに追加された。今年3月には、今回受け入れることになった6年生が1年次にマレーシアを訪れて、再会を喜んだ。

サポートするバディとなった駿高生は、ホームステイ先となったマレーシアの生徒を自宅に受け入れ、学校での昼食時は手作り弁当や学生食堂の定食でもなし、和やかな雰囲気となった。異文化交流では茶道部や華道部が流ちょうな英語で作法

などを伝授していた。華道の合間には、マレーシアの生徒たちから校歌斉唱を求められ、最初は戸惑っていた生徒たちも陽気なマレーシアの生徒たちにつられて次第に元気に斉唱。楽しいひとときを過ごした。

駿高が目指すグローバル教育は、単に英語が話せればいわけではない。グローバル推進室長の河崎哲郎副校長は「マレーシアの人々は、マレー系、中国系、インド系などさまざまな民族が集まり、宗教も仏教、キリスト教、ヒンドゥー教、イスラム教と国際色豊かな多感な時代に、世界にはさまざまな考えを持った人がいることを同年代の子もまたこの交流を通して感じることがとても大切なことと考えています」と話す。

（3）年は、航空業界での就職を目指す上でもグローバル教育は不可欠と考える。「マレーシアへの研修旅行も、今回の受け入れも、駿高がこれまで培ってきた貴重な体験でした。受け入れた生徒は英語、マレーシア語、中国語が話せるほか、アニメを通じて日本語も話せる向上心旺盛なムスリムの男子。1日5回、お祈りをしていました。食事の制限もありませんでした。当初は、対応できるか不安に思いましたが、その生徒と交流するなかで話さずにはいられなくなり、入れることの大切さを痛感し、自分の偏った考えが変わりました」と自



熱気に包まれる体育館。その日のTシャツなどに身を包み、陣を組んで気合を入れる生徒たちも。オリエンタルラジオの曲「パーフェクトヒール」を演奏する。駿中祭実行委員長の田中主任は「今年、駿中祭のテーマは『Keep smiling！』仲間と過す1分1秒から（駿高の）パフォーマンスの完成度が高いと聞いています。来年度は、目を輝かせる。勉強や部活ももちろん、各イベントに全力で取り組み、みんなが楽しむのが駿高の良さ。『無理』という言葉は使わず、これからもさまざまなことにチャレンジしていきたいと思っています」と決意を新たにしていた。

駿中祭 クラスが一つにダンスや劇披露

駿台甲府中八田政久校長は5日、「駿中祭」を開催。クラスパフォーマンスをメインイベントに、生徒たちの笑顔と汗がはじけた。クラス全員が「LOVE NOTE」と題して、思い思いのパフォーマンスを披露した。優勝したのは3年C組。人気のテレビ番組にかけた「はじめてのDJ番組」をテーマに、ダンスと劇を絶妙に織り交ぜ、栄冠を手にした。

駿高祭のクラスパフォーマンスは、舞台を甲府「ユニー」文化ホールに移す。田中主任は「姉や兄も駿高で、母親から（駿高の）パフォーマンスの完成度が高いと聞いています。来年度は、目を輝かせる。勉強や部活ももちろん、各イベントに全力で取り組み、みんなが楽しむのが駿高の良さ。『無理』という言葉は使わず、これからもさまざまなことにチャレンジしていきたいと思っています」と決意を新たにしていた。

〈企画・制作/山梨日日新聞社広告局〉

Challenging Spirit

「オール駿台」で完全サポートします!!

高校普通科

第1回 学校説明会

7月9日(土)

10:00～、14:00～

学校説明、キャンパスツアー、入試概要説明など

(午前・午後同一内容)

夏の体験入学

7月30日(土)、31日(日)

体験授業、文化部発表、終了後昼食付き

※両日同一内容 ※事前申込制

高校美術デザイン科

オープンキャンパス

7月17日(日) 9:15～

学校紹介、夏期講習会の見学など 終了後軽食付き

※事前申込制

学校説明会 7月10日(日) 9:30～

学校説明、入試要項配布・説明、入試出題方針説明

※個別相談有

一日体験入学 7月31日(日)、8月21日(日)

体験授業、保護者対象講演会

※個別相談有、両日参加可 ※事前申込制

第1回 公開授業 7月2日(土) 9:00～

通常授業の見学など

入試説明会・体験入学

8月20日(土)、9月4日(日)

体験授業、入試問題の解説など

※個別相談有、両日参加可 ※事前申込制

[塩部キャンパス]

〒400-0026 山梨県甲府市塩部2丁目9-1

■駿台甲府高等学校 普通科

TEL055-253-6211

FAX055-252-5395

<http://www.sundai-kofu.ed.jp/>

[今井キャンパス]

〒400-0845山梨県甲府市上今井町884-1

■駿台甲府小学校

TEL055-244-0411

FAX055-220-2838

<http://www.sundai-kofu.ed.jp/elementary/>

■駿台甲府中学校

TEL055-243-5200

FAX055-243-5202

<http://www.sundai-kofu.ed.jp/junior/>

■駿台甲府高等学校 美術デザイン科

TEL055-241-5311

FAX055-241-8304

<http://www.sundai-kofu.ed.jp/bizyutsu/>

